

# 輝き人生 ライフ

このコーナーではきりと  
輝きながら活躍する市民を  
紹介します。



## チャレンジし続ける人 でありたい

にしかわ さな  
**西川 紗奈さん** (山下町)



▲全国大会の大事な試合に勝って、仲間と喜び合う西川さん(一番右)  
◀守備の要として、ボールをクリアする西川さん(一番左)

「競り負けないプレーで、チームのために体を張って守れるサッカー選手になりたい」と話してくれるのは西川紗奈さん(18歳)。サッカーに専念したいとの思いで進学した女子サッカー強豪校の福井工業大学附属福井高校では、2年生からDF(主に守備を行うポジション)として試合に出場し、全日本高校女子サッカー選手権大会では、全国3位という輝かしい成果を残しました。この春の卒業後は、吉備国際大学(女子サッカー部は、日本女子サッカーリーグ「チャレンジリーグ」に所属)に進学し、さらなる高みを目指して、新しいチャレンジが始まります。

—中学生まではどのようにサッカーを?  
「神辺保育園での年長クラスの時にサッカーを始めました。小・中

学生の頃は、学校が終われば、鈴鹿や伊賀のサッカークラブチームで、ほぼ毎日練習に取り組んでいました。また、神辺地区周辺の田んぼ道をランニングしたり、中学生の時には、亀山中学校の男子サッカー部の早朝練習に参加させていただいたり、サッカーの基礎をしっかり学ぶ時間をこの地域で過ごさせてもらいました。」

### —高校での全国3位の成績には?

「強豪校が集まる全国大会で、試合を重ねるごとに成長できる貴重な体験ができました。ただ、全国優勝が目標だったので、嬉しさ半分、悔しさ半分でもありました。その悔しさをバネに、大学や社会人チームでも頑張っ、もっと良い成績を残したいと考えます。」

### —サッカーの魅力は?

「試合に勝てた時に、厳しい練習を乗り越えてきた仲間と喜び合える瞬間が何より最高です。また、サッカーはチームプレーであり、目標に向かってみんなで懸命に練習に励んでいるときは、大切な仲間との一体感があり、とても充実した気持ちになります。」

### —これからの目標は?

「まずは大学のチームで試合に出場し活躍することです。そして、大学卒業後は日本女子サッカーリーグ「なでしこリーグ」の所属チームに入団したいと考えます。最大の目標は、「なでしこジャパン(サッカー日本女子代表)」に選出してもらえるような選手になりたいと願います。そのためにも、もっと練習に打ち込み、能力や技術を磨いていきたいと考えます。」



## 亀山市名誉市民

### 彫刻家 **中村 晋也**

#### 作品紹介「ふるさとあい」Vol.22

#### てんしょういん あつひめ 「天璋院 篤姫」(平成22(2010)年建立)

江戸末期に、薩摩から徳川將軍家に嫁いだ篤姫の生涯を描いた大河ドラマが放映されてから今年で10年になります。明治維新という時代の大きなうねりの中で、多くの血が流され戦火にまみえた土地もありました。天璋院が東征軍参謀宛に送ったとされる嘆願書を読んだ西郷隆盛は涙し、このことが江戸城の無血開城という劇的な偉業につながったともいわれています。天璋院像の制作を依頼された中村は、この命がけの嘆願書の一文を刻めないものかと考え、屏風形にデザインした背後の石板の、しかも篤姫像の真後ろに刻みました。



180cm(高さ)×100cm(幅)×81cm(奥行)  
(鹿児島市鹿児島城址)

特別協力 公益財団法人中村晋也美術館(UR) <http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html>